# 平成 28 年度 山田小学校区 第1回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成:三島市役所地域安全課きずなづくり推進室 (TEL: 055-983-2708)

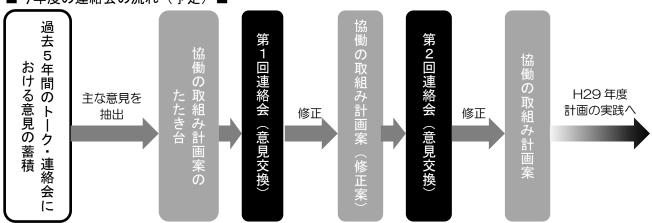
6月9日(木)に開催された「山田小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

#### ■開催概要■

日 時	平成 28 年 6 月 9 日 (木) 19:00~20:40		
会 場	市民体育館		
参加団体	若松町自治会	交通安全母の会	初音台子ども会
	加茂町内会	旭ヶ丘幼稚園	山田中学校支援地域本部
	西旭ケ丘町内会	旭ヶ丘幼稚園 PTA	保健委員会
(26名)	青葉台自治会	山田小学校	民生委員•児童委員
	旭尔丘町内会	山田小学校 PTA	旭ヶ丘旭寿会
	初音台町内会	山田中学校	錦田地区地域包括支援センター
	三恵台自主防災会	山田中学校 PTA	三島市公立幼稚園 PTA 連絡協議会

#### ■今年度の連絡会の流れ(予定)■



#### 地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

## ~各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力のお願い~

◆三恵台自主防災会:「Welcome ガーデン三恵台」が地域の方や市の支援を受け2年かけ完成。 花や植木の持ち寄りや花壇運営委員の募集、子ども会の参画、お披露目

会等を実施。様々な方が集う場所として日々利用してほしい。

◆山 田 中 学 校:廃品回収の回収場所整備を進めている。誰もが何時でも置くことが可能 にする予定。花壇&読み聞かせボランティアを募集中。ご協力願います。

◆山 田 小 PTA: 10/23(日)PTA 交流行事、新春行事(仮)では、校区の方達を交えた親

睦の場にしたいと計画中。地域の方が参加しやすくなるアイディアや、

参加しにくい障害は何か等ご意見を聞かせてほしい。

◆旭ヶ丘町内会:「旭ヶ丘カフェ」を27名のボランティアで運営、認知症予防の為の「な

かよし体操」教室も実施。各種ボランティアを回覧板で募集している。

#### 意見交換のまとめ

- ●第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- ●この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予 定です。

## こんな小学校区にしたい

## 【A グループ】

## ●あいさつ・笑顔

- 笑顔であいさつ、笑顔で変える人との きずな
- ・皆のあいさつで気持ちの良い校区

## ●つながり

・つながり広がる山田小学校区

## ●子ども

- 子どもが地域の未来を握る
- 子どもは未来の宝

## ●その他

- ・自然いっぱい山田小学校区
- ・富士山を見てきれいだなと思える(心に余 裕のある)
- 人気の山田小学校区、価値の高い山田小学校区(安心安全、落ち着いた学校、学力の向上、若者が帰る町)

## 【B グループ】

## ●あいさつ・笑顔

- あいさつ、知り合いを増やす
- あいさつの多い学区(あいさつしたら返ってくる)
- ・ 笑顔の地区
- •毎日が笑顔に!

## ●つながり・全世代

- ・つながりのある
- きずな
- ・全世代が仲良く!!
- ・世代を通して絆が続くまち
- 地域の輪
- みんな知ってる、みんなで見守るまち
- コミュニケーションができる校区
- 子どもと大人が集う機会の多い学区

## ●その他

- ・思いやりのある
- •幸福の学区

# お困りごと・現在の状況

	A グループ	B グループ
防災		・小中学校では、保存食を備蓄している。 ・防災グッズを持っている。(山田中) ・一昨年から運動会復活。運動会と防災訓練の合同は難しい。 ・防災訓練では中学生がリヤカーで要支援者の運搬訓練を行った。(旭ヶ丘) ・幼稚園と旭ヶ丘町内会が連携。 ・要援護者サポート隊を作っている。今、人手は足りている。 ・要援護者台帳を作った。 ・防災委員を募った。 ・訓練に50%の人が参加、避難ができる。 ・家族関係が助け合いのネック。
		・防災体制難しい。(加茂) ・新たな体系を作る必要はない。
安全	・花壇ボランティアや、学習支援ボランティア募集中。(山田小) ・学校の整備活動(草刈り等)に、地域の 方々に空き時間を利用しご協力頂きたい。 ・回覧板で協力募集しても集まらない。 ・卒業生の親による花壇整備が大変好評。 ・子ども会の充実のため、町内会から子ど も会に補助金を出している。(加茂)	
地域内連携	・空き地、空き家に草が生えて困っている。	くきずなが薄れている> <ul> <li>・地域の行事が衰退している。</li> <li>・役員だけではどうすることもできない。</li> <li>・絆がないと生活できない。</li> </ul> <li>くライフスタイルの変化&gt;</li> <li>・参加者がいつも同じ。</li> <li>・参加しない人を参加させることは難しい。</li> <li>・出てこない人は何をやっても出てこない。</li> <li>きっかけ作りが難しい。</li>

# 取組みたいこと

平日昼間の防災体制を整えよう				
	A グループ	B グループ		
合同訓練	・小学校では防災学習に力を入れていくが (小中連携の防災訓練など)、学校主体では なく、 <u>地域主体の連携方法</u> の検討が必要。 ・父兄が学校へ来る際は、何かしらの防災に つながる事を行う。	<ul><li>・<u>幼稚園、小、中学校の合同引き渡し訓練</u>をしたい。</li><li>・年2回の引き渡し訓練を小中学校と合同で開催できると良い。(幼稚園)</li></ul>		
要援護者サポート		<ul><li>・<u>中学生</u>が訓練で<u>要援護者のサポート</u>をする。</li><li>・避難に中学生の力を借りる。<u>避難救助者</u>。</li></ul>		
組単位の 活動		・ <u>組内で民生委員と協力</u> し、要支援者を把握し対応。 ・ <u>声掛け避難</u> 。 <u>組単位で共助</u> の仕組みづくり。(三恵台) ・小規模グループ単位の活動。		
その他	<ul> <li>防災役員の任期を長期(数年)にする。単年では体制を整えられない。</li> <li>・学校、町内会の防災用具が書かれた冊子を作成する。</li> <li>・避難所の区割りを見直してほしい。</li> </ul>	・ <u>黄色いハンカチ</u> 。 ・まず昼間の <u>初期の対応</u> だけはしよう。		

子どもの安全のために地域ぐるみで取り組もう				
	A グループ	B グループ		
子ども会の充実	<ul><li>・シニアの方に子ども会をサポートしてもらう取り組み。</li><li>・どんど焼きやしゃぎりでは自治会などにサポートしてもらっているが、他の活動でも協力を広げていきたい。</li><li>・12町内の子ども会の交流をしたい。</li></ul>			
登下校の 安全	・高齢者の散歩の時間を子どもの登下校に行ったらどうか、と自治会員等で話がある。 ・登下校の際、防犯交通安全パトロールをやる。参加者を町内中で募集し、担当者を決めるなど。 ・地域住民と分かるように、ビブスを配布する。 ・子ども同士の連携。助け合いの向上のため、集団登下校の実現。安全確保、活動もしやすい。 ・「ゆっくりロード」を作る。 ・親しみの湧くゆるキャラ等を使い交通安全を PR する。			
防犯強化	・山田小、山田中のフェアキャストを活用する。 ・夜間パトロールの連絡。			
地域との	・本日のスクールガードの紹介。			
交流				

地域内連携に取り組もう			
	A グループ	B グループ	
あいさつ 運動	<ul><li>・子どもから大人まで、<u>あいさつ運動</u>をも う少し徹底させたらどうか。</li><li>・家庭、学校、地域であいさつや声掛けに 取り組む。遊んでいる子どもへの声掛け。</li></ul>		
広く	・役員以外でも参加できる仕組みづくり。 ・幼稚園父兄には、本の読み聞かせボラン ティアが多い。子どもが小さい間は仕事 に出られず、空いた時間で参加したい人 もいるはず。情報が届いていない、 <u>広く</u> 声掛けしてほしい。	・ <u>個人的に</u> 協力できる人を <u>募集</u> する。 ・ <u>引っ張り込む</u> ことが大事。	
地域内の交流	・地域の <u>お祭りで中学生にも店の手伝い</u> を してもらう。コミュニケーションがもっ と広がりそう。	・ <u>お互いに見学</u> 。見学して意見交換できた ら良い。 ・一人一人が主役になれるような行事企画。 面白がって出てくれる人がいる。アイディア出し。特技をいかしてもらう。 ・自治会が大きいが、組単位で小規模での 確認を勧めたい。(旭ヶ丘) ・ご近所付き合いが大切。 ・夏祭り、しゃぎり、もちつき大会、顔見 知りになれる。 ・花壇づくりなど、地域と子どもの交流を 進める。	
学校を 活用	・学校の運動会に父兄の参加を増やす。父兄同士、顔見知りになれる場。 ・運動会の昼食を親子一緒にとりたい。← 各家庭の諸事情により、難しい。 ・地域主体で学校の環境を整える。 ・お年寄りを学校に呼んで、子ども達と話し合う日を設ける。		
年間 予定表	・学校、町内会の全ての予定が書かれた年 間予定表を作成する。年度末に次年度の 予定がある程度決まるはず。		

# 意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

#### ◆こんな小学校区にしたい

「つながり」「子ども」「あいさつ」「仲良く」「全世代(世代を通じて)」等の言葉を用いる。

#### ◆お困りごと・現在の状況

- 「学校の草刈り等に、地域住民にボランティア協力をお願いしたい」旨を追記する。
- 一昨年から運動会が復活したこと、しかし参加者は限定的であることを追記する。
- ・ライフスタイルの変化によってきずなが薄れていることを追記する。

#### ◆取組みたいこと

#### <平日昼間の防災体制を整えよう>

- 合同防災訓練は、学校主体ではなく、地域主体の連携方法の検討が必要であることを追記する。
- ・幼稚園、小学校、中学校の合同引き渡し訓練を実施する旨を追記する。

#### <子どもの安全のために地域ぐるみで取り組もう>

- 子ども同士の顔見知りを増やすため、集団登下校を実施するように追記する。
- ・小中学校のフェアキャストを活用する旨を追記する。

#### <地域内連携に取り組もう>

- ・家庭、学校、地域であいさつや声かけに取り組む旨を追記する。
- ・ボランティアに参加希望者に幅広く声掛けをするよう、追記する。
- ・地域内の各団体の予定が載った年間予定表を作成する旨を追記する。
- 各団体がお互いの活動を見学して意見交換できる場を設けることを追記する。